

令和6年度 学校評価アンケートのまとめ



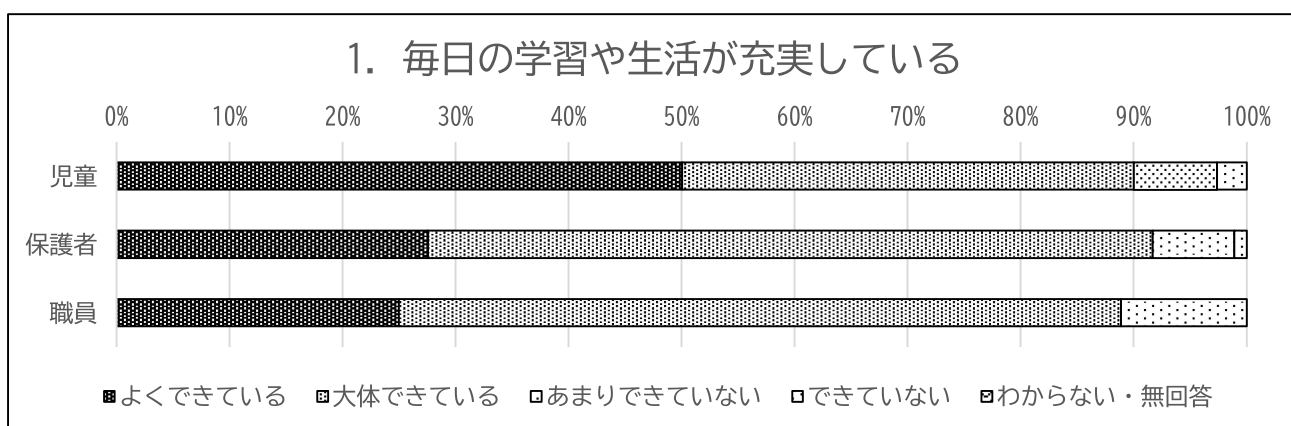
令和7年3月 習志野市立谷津南小学校

評価のまとめ

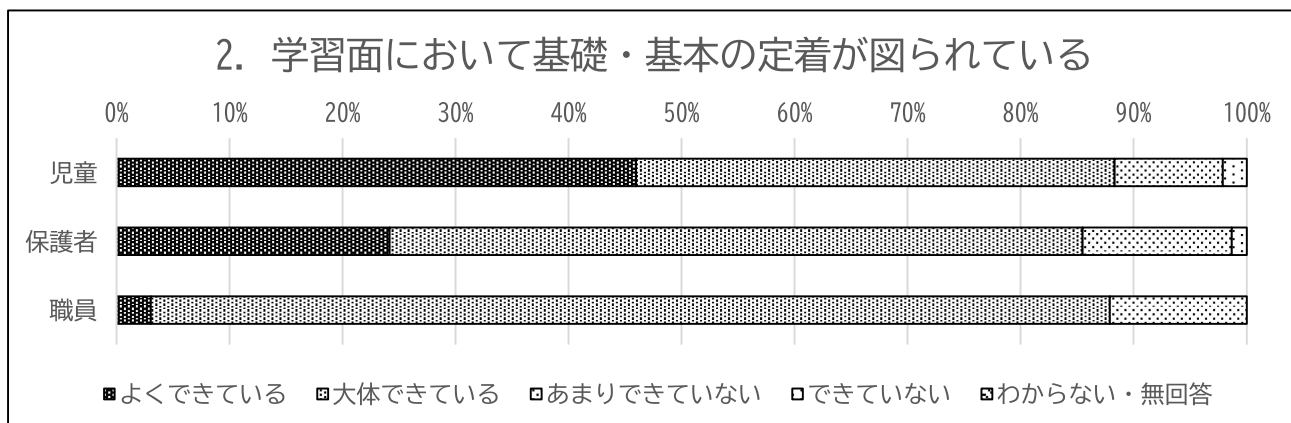
(※意見等については、主なものを要約、抜粋しています。御了承ください。)

保護者意見 … 保 職員意見 … 職 学校関係者評価委員意見 … 評 考察 … 考

1 学校アンケート質問項目から



考 「よくできている」「できている」と回答をした児童が90%に達し、前年度に比べて3%ほど増えています。令和5年5月に感染症対策が緩和され、今年度は1年を通して制限のない形で教育活動を行うことができました。体験的な学習や、地域の場所や地域の人との関わりを題材にした学習、異学年との交流等、児童が主体的に学習に参加できるよう、学習活動の工夫に引き続き取り組んでいきます。



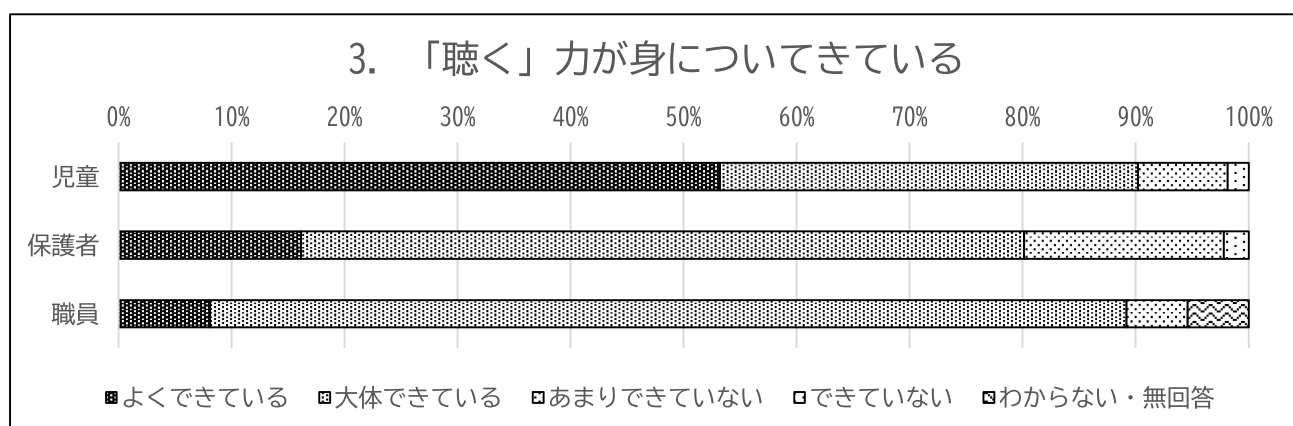
職 今年度、文部科学省通知に基づき、各教科の標準授業時数(1年間で行うべき授業時数)を超える余剰時数を見直しました。前年度より1週あたりの授業時間が減ったことで、放課後の授業準備や会議時間を確保することに繋がりました。

保 授業時数が減ったことへの不安の声がありました。説明不足で申し訳ございませんでした。各学年、各教科の学習内容につきましては、カリキュラムの通り実施しておりますので、御安心ください。

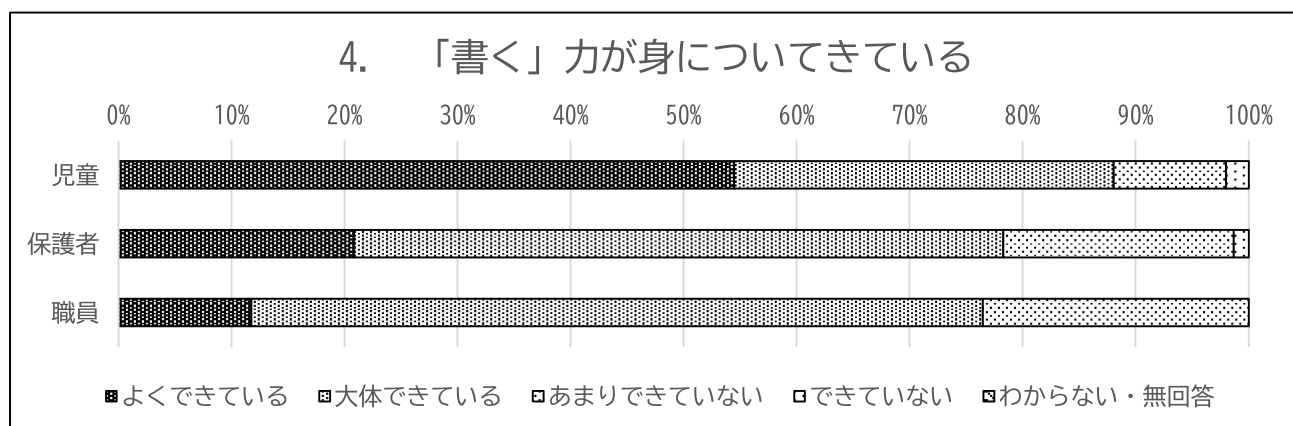
保 宿題の量や内容が適切かという御意見が複数ありました。

考 保護者と職員の回答では「よくできた」「できた」という肯定的な回答が昨年度より増加しましたが

児童については肯定的な回答が昨年度より3%ほど減少しました。児童一人一人が自分の目標をもち、学習によって「わかった」「できるようになった」という達成感をもつことができるよう、指導や支援の方法を工夫して参ります。宿題に関しては、学年の発達段階に応じて量や内容を吟味するとともに、ICT を活用した家庭学習の在り方について検討を進め、基礎・基本のさらなる定着を図ります。

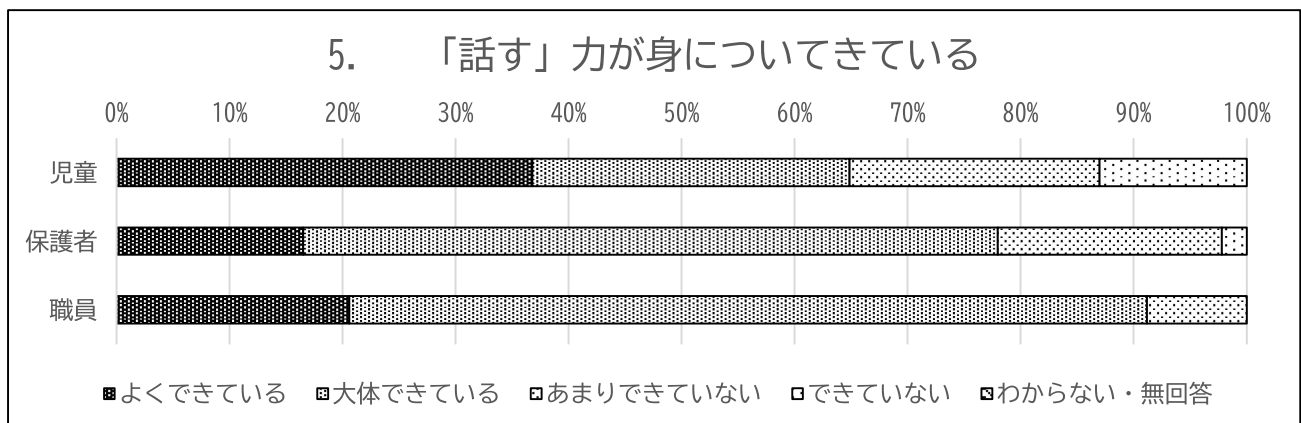


考 「よくできた」「できた」と回答した児童・職員の割合は90%でした。学習中だけでなく朝の会・帰りの会など、学校生活全体において、最後まで話を聴くことは非常に重要なことです。話し手に注意を向け、最後まで聴くことの価値や意味を児童に引き続き伝えてまいります。

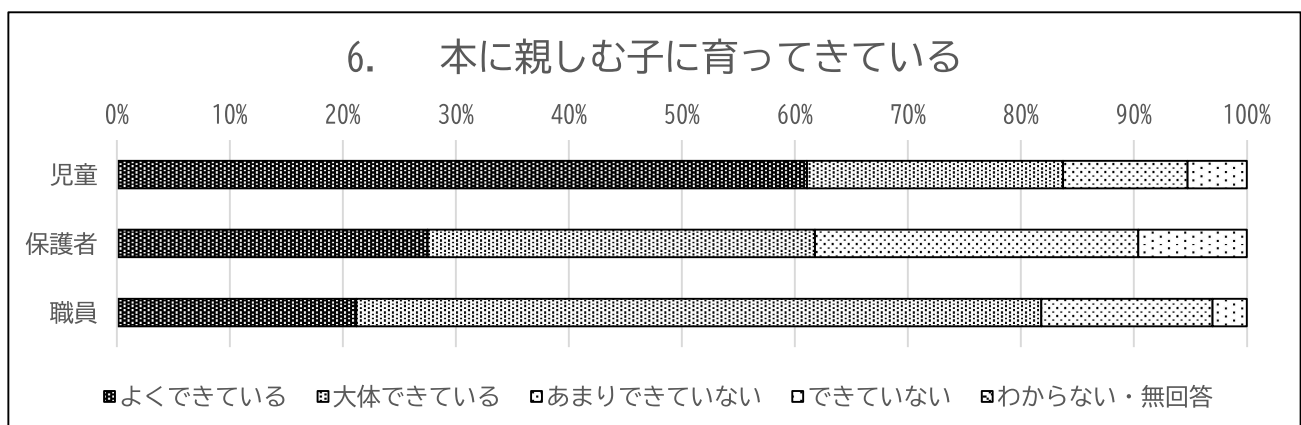


保 文字の書き方やノートの取り方の指導について、入学時からの成長を感じるとの御意見をいただきました。一方、授業時間内に黒板の字を書き切れず、わからないままになってしまっているとの御意見もあり、個人差が大きいことが分かります。

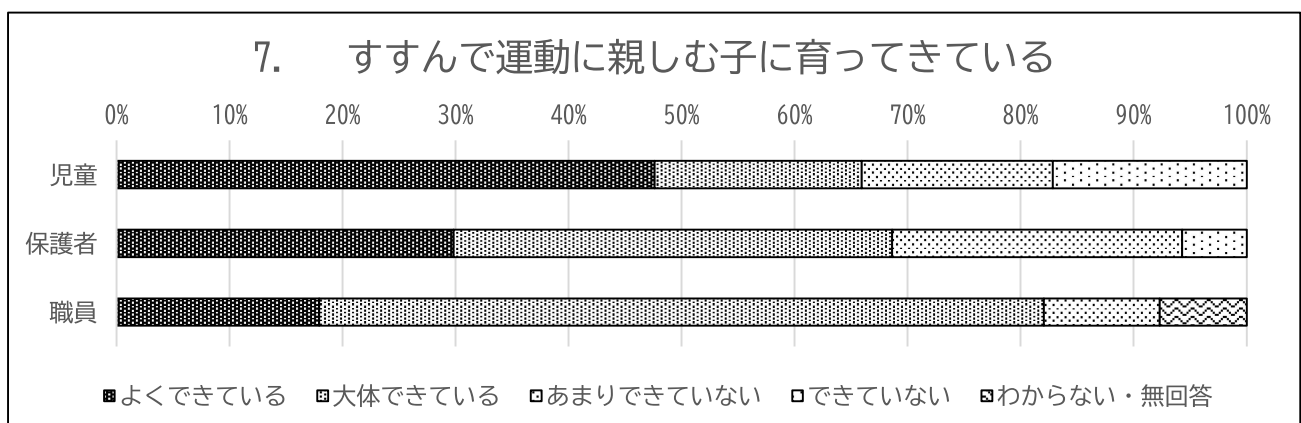
考 第6学年が令和6年4月に行った全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、「書く力」に課題があることが分かりました。学習中に自分の考えや、学習の振り返りを書く時間を確保していきます。一人一人の児童の実態に合わせて、書く力をどのようにして高めていくかを、学校全体で検討してまいります。



考 職員の9割が、話す力が身に付いてきていると回答していますが、児童の肯定的回答は65%で、職員の認識よりも話すことが苦手だと感じている児童が多いことが分かりました。本校では研究教科である生活科・社会科において、グループの友達や異学年の児童、職員や地域の方等との「対話」の場面を位置づけています。どの児童も主体的に話し合いに参加できるよう、支援の在り方を工夫していきます。

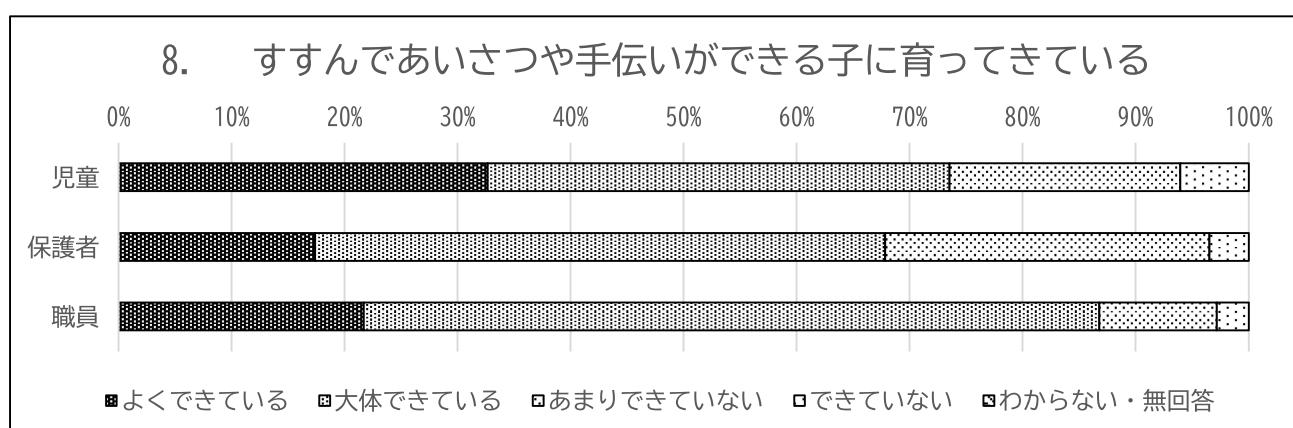


考 80%以上の児童が本に親しんでいると回答しています。一方、保護者については、読書があまりできていないという回答がやや多い結果となりました。学校では、2～6年生に「朝読書タイム」を設定しているほか、各クラスに週1時間、図書室を使用できる時間があります。また、地域の読み聞かせボランティア「お話ポケット」の皆さんによるお話会を、学期に1度、全クラスで実施しています。タブレット端末で利用できる習志野市の電子図書館「ナランド♪ライブラリー」のさらなる活用など、御家庭でできる取り組みについて周知してまいります。

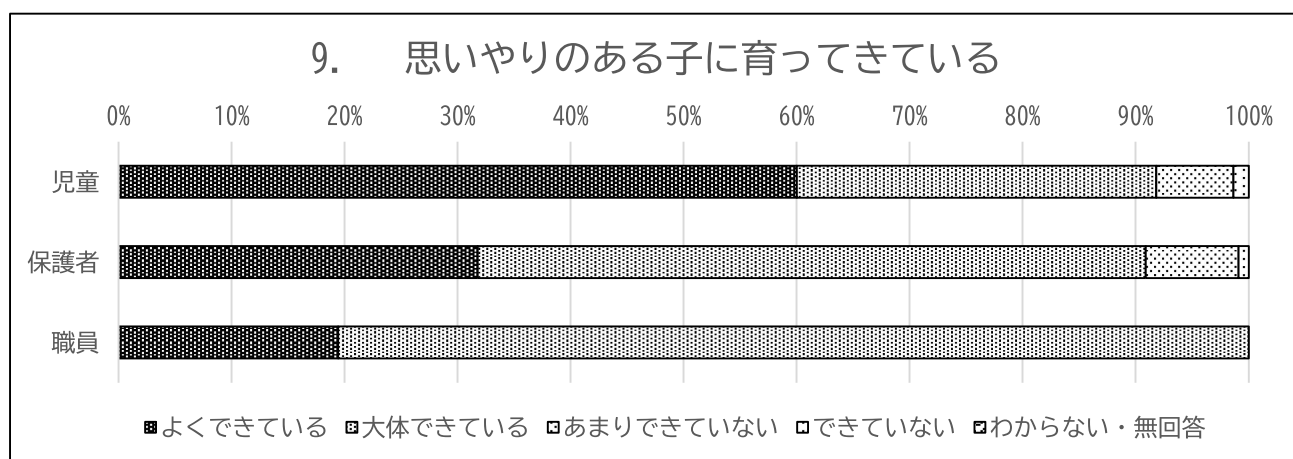


【評】 外遊びのルールについて、あまり規制が多いと外で遊びたいという動機付けや危険を予測する力の育成に繋がらないのではないかと。

【考】 体育の学習や外遊びで元気に体を動かす児童が多く見られますが、休み時間を室内で過ごす児童の姿も一定数見られ、肯定的な回答は昨年度より6%ほど減っています。今年度、千葉県教育委員会が行っている「遊・友スポーツランキングちば」の『みんなで短縄跳び』への取り組みを始めました。今後も継続し、児童が楽しみながら運動に参加しようとする意欲を高められるようにします。また1学期に実施した体力テストの結果を全体で共有し、課題となる部分について重点的に指導を行い、バランスよく体力を向上させられるよう取り組んでまいります。

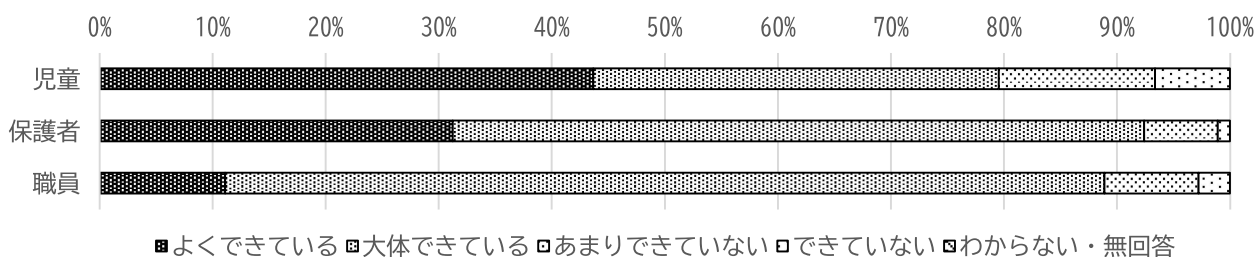


【考】 年間を通して、挨拶を重点的に指導しました。各学級での指導のほか、児童による朝の挨拶運動により、年度始めに比べると、自分から明るい声で友達や職員に挨拶する児童が増えています。職員・児童・保護者の評価に差異が認められます。引き続き、学校での指導の他、PTA や地域団体の皆様と連携して、挨拶の大切さを教えていきたいと考えます。



【考】 他者の気持ちを理解し、思いやりの心をもって接することについては、日常的な指導の中のほか、道徳の学習で指導しています。また、年間を通して縦割り清掃や異学年交流、1年生と保育所の年長児との交流活動を行っています。異学年の児童との交流は、コミュニケーション能力や思いやりの心を育てるうえで有効であると捉えております。学年の実態に応じて交流の場を設け、思いやりの心を育ててまいります。

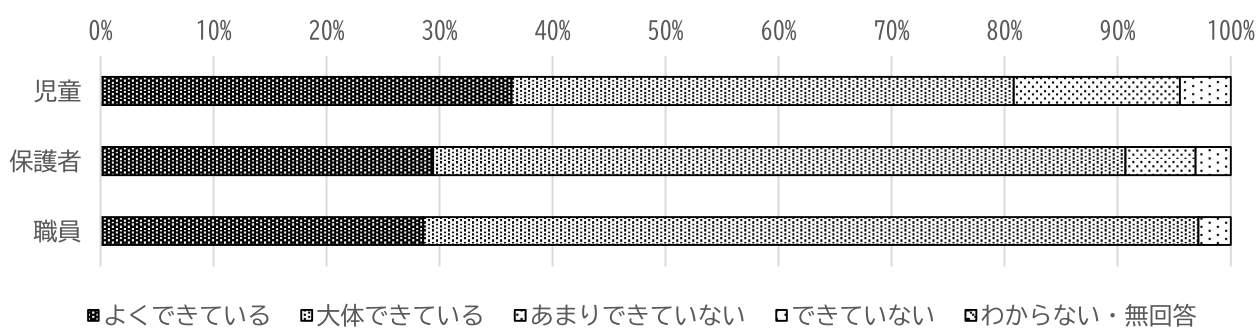
10. けがや病気に気をつけ、安全に過ごすことができるようになってきている



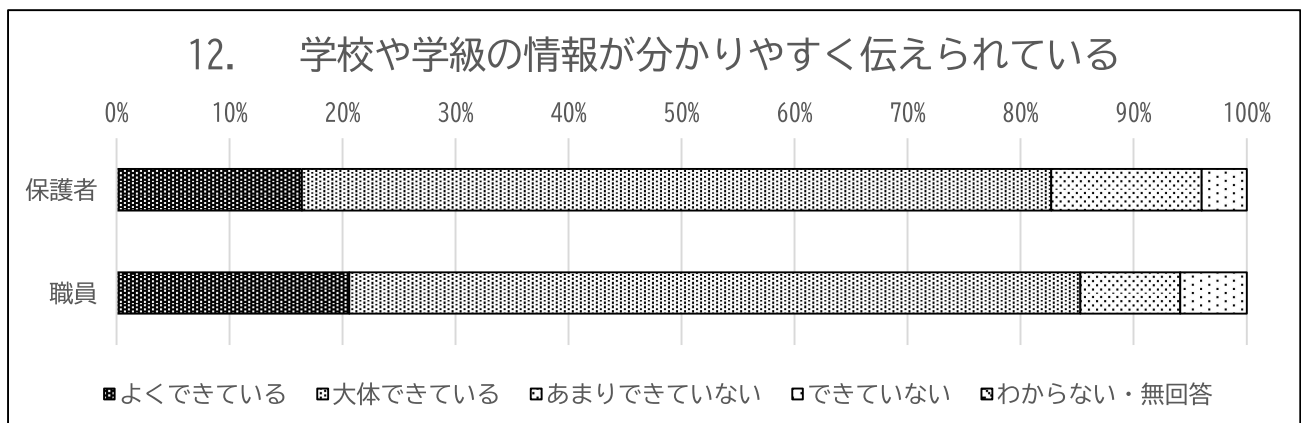
<バス通学について>

- 保** 入学直後の1年生下校時に、バス下校・徒歩下校・学童に行く児童で昇降口付近が混雑し、別のグループに入ってしまう児童がいたと聞いた。
- 保** あれだけの人数がバス乗車している騒がしくなるのは当然。一方的に「しゃべらないように」という指導の仕方は見直してほしい。
- 考** バスのマナーについては、年間を通して指導しています。御意見にあった通り、「しゃべってはいけない」という一律的な指導ではなく、一緒に乗車している方の気持ちを考えさせるなど、発達段階に合わせて子供たちに分かりやすく伝えていきたいと考えています。1年生を対象に4月に実施しているバスの乗り方教室や、交通安全教室等については、学校だよりでお知らせするほか、保護者の方にも公開し、その趣旨を御理解いただいたうえで御協力を得られるようにしていきたいと考えております。

11. 担任や学校に気軽に相談でき、親身に対応してくれている



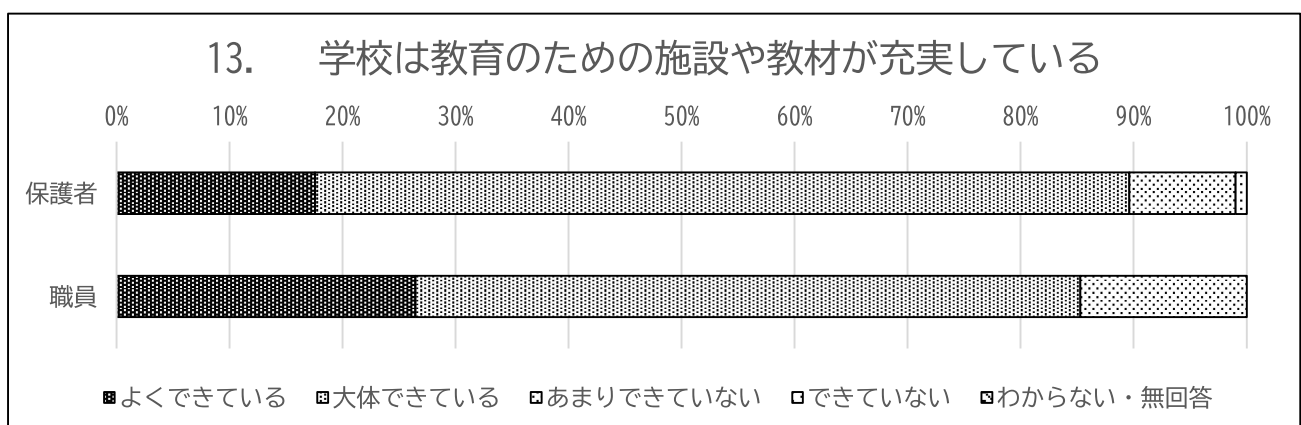
- 考** 保護者・職員の肯定的な回答は90%以上と高くなっていますが、児童の肯定的な回答がやや低くなっています。学期に一度、教育相談週間を設け、児童の困り感について聞き取りを行っています。担任以外にもスクールカウンセラー、教育相談員、養護教諭など、学校にいる職員誰にでも相談してよいことを、児童に周知していきます。また、職員の言葉遣いや態度、指導の仕方を児童はよく見ていることを再認識し、児童が気軽に相談できるような言動を常に心掛けてまいります。



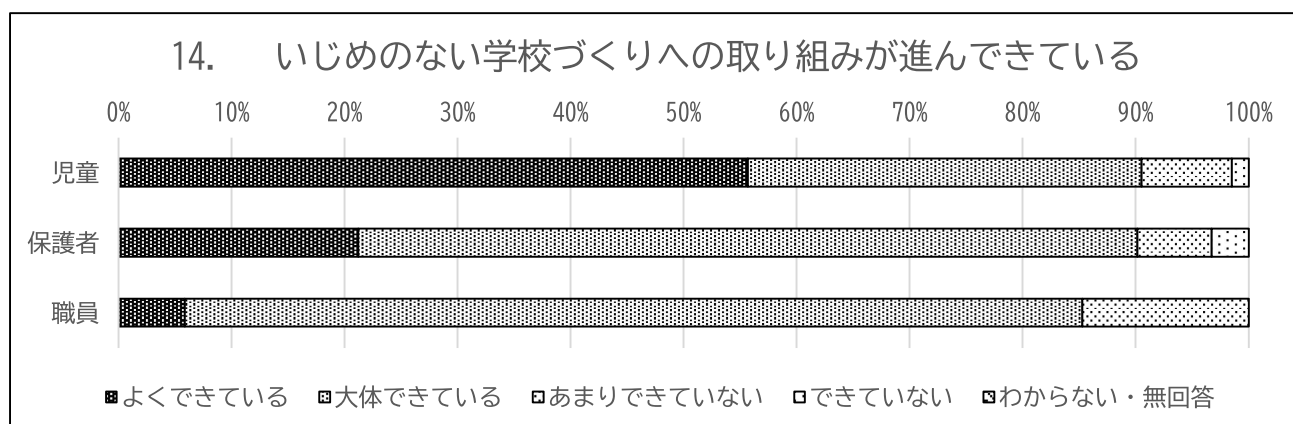
保 主に以下の御意見をいただきました。

- ・手紙類について、tetoru と紙の両方で配布されると分かりにくい。
- ・不要なチラシ類の配信が多く、重要なものが分かりにくい。
- ・学級閉鎖の連絡が入るが、どんな感染症が流行っているか教えて欲しい。
- ・一週間のプログラムを tetoru で配信してくれているおかげで何をやっているのか、何が必要なのかよく分かり助かった。
- ・週プログラムが配信されるクラスとされないクラスがあるので統一してほしい。
- ・お弁当が必要な日をアピールして欲しいです。

考 ペーパーレス化を推進するため、学校からのお知らせについては、原則 tetoru を使って配信しています。プールや校外学習の参加承諾書、各団体から配付されるチラシ等、紙で配布しなければならないものもありますが、紙での配付が最小限になるようにしてまいります。また、tetoru 配信時には、重要な文書が一目で分かるようなタイトルをつける等、分かりやすく配信できるよう工夫してまいります。週プログラム等、各学級から配付される手紙については、すべてのクラスで発行することは難しいですが、必要な情報は連絡帳を通して伝える等、クラス差が出ないように留意してまいります。



考 昨年度は体育館の床・照明・外装の改修工事、学童棟前の砂利道の舗装工事を行いました。来年度は体育館の空調設置工事が予定されております。具体的な日程が分かり次第、学校だより等で伝えてまいります。



保 いじめアンケートに親が目を通すのは、事実を記入出来ている場合には有意義だと思うが、親に見られる事を子供がわかっていると、正直に記入できないのではないかな。

考 いじめ対策には、未然防止や早期発見が重要となります。習志野市の学校では、「いじめに関するアンケート」を学期に1回実施し、保護者の方に確認していただいたうえで、担任が児童一人一人と面談を行っています。正直に回答することが難しい児童への対応として、無記名式のいじめアンケートや「先生あのねアンケート」「学校生活アンケート」を実施することで、友達に関する悩みだけでなく、家族や職員等に関することなど、様々な困り感の把握に努めています。子供一人一人から話を聞く時間を確保し、職員間で共有することで、早期発見・解決ができるよう学校体制で取り組んでまいります。

2 行事関連

保 授業参観について、混雑のため授業中にクラスに入らず廊下から参観せざるをえなかったという御意見をいただきました。

考 次年度は、授業参観の混雑緩和のために授業を2時間展開とし、その内の1時間を参観していただく形を予定しています。

保 運動会について、以下の御意見をいただきました。

<種目やプログラム関連>

- ・ダンスと徒競走以外の種目もコロナ禍前に戻して欲しい。・・・綱引きや玉入れなど
- ・運動会は今後も午前のみにしてほしい。
- ・運動会は以前のように学年別にしてほしい。
- ・今年は運動会にお弁当を持参したが、高学年がお腹を空かせて帰らずに済み、また子供たちの安全も確保されたので良かった。
- ・お弁当を持たせたが、食べる時間がなく、半分以上残して帰ってきた。

<会場について>

- ・運動会のダンスが遠くて見づらかった。
- ・マイク音声や音楽が聞こえづらかった。
- ・熱中症対策として運動会の子供たちの日陰用テント設置に早期に取り組んで欲しい。

<観覧マナーについて>

- ・当日最前列に椅子を並べて観覧している保護者がいた。
- ・三脚を置いたまま移動せずに座っている保護者がいて非常に見にくかった。
- ・自身の子の前の学年の種目から一番前の席を陣取っている保護者が散見された。
- ・学校からのアナウンスや、他の保護者の注意を聞いても動かない方もいた。

考 令和5年度から感染症による制限がなくなりました。児童数が年々増加していることに加え、バス通学の児童を安全に下校させる必要があることから、今年度は午前中に競技を実施、昼食を食べて下校という形をとりました。本校特有の事情はありますが、児童にとってより達成感あるプログラムになるよう、検討を重ねてまいります。音響設備については設備の見直しを検討中です。保護者席や児童の休憩場所については、競技中の児童の安全を第一に考えたうえで、会場の配置を検討してまいります。観覧マナーについては注意事項をプログラムに記載するほか、椅子や三脚の使用ができない場所に表示札を貼る、PTAの皆様と連携して会場を回って声をかけるなどの対策を考えていきます。

保 鹿野山セカンドスクールは4,5年生だけでよいのではないかと。6年生は行事が多く、保護者としても負担に感じます。

考 3月7日に、習志野市教育委員会からの通知をtetoru配信させていただいた通り、令和8年度より6年生の宿泊体験学習については、修学旅行のみとなる予定です。

3 タブレット端末・ICT 関連

保 タブレット端末について、非常に多くの意見をいただきました。特に多かった意見について以下に整理しました。

- ・毎日タブレットを持ち帰っているがもう少し有効に活用できないか。
- ・タブレットを使った宿題を出してほしい。
- ・持ち帰りの頻度を減らすことはできないか。
- ・担任の先生によってタブレットの使用頻度に差がある。
- ・タブレットが重く、毎日持ち帰るのが負担である。安全面、体への負担が心配。
- ・学校で充電ができるようにできないか。
- ・子供がYoutubeを見られることが心配。
- ・教科書を学校に置いているため、今どんな内容を学習しているのかが分からず、躓いた教科を教えることが難しい。教科書の電子書籍がタブレットで見られるようになれば便利になる。

評 保護者の方にタブレット端末を使ってできることを、もっと保護者に周知する必要がある。

考 <タブレット端末の有効活用について>

- ・次年度より、新たな学習用アプリ「SKY MENU CLOUD」が導入されます。職員向けに研修を行うとともに、学年に応じた活用方法の検討を進め、授業や家庭学習でタブレット端末をさらに活用できるようにしていきます。

<持ち帰りの負担軽減について>

- ・習志野市では、タブレット端末は毎日持ち帰ることを基本としています。また、現状では教室毎にクラス人数分の端末を一度に充電する機材が配当されていないため、御家庭での充電をお願いしているところです。児童の持ち帰りの負担を軽減するため、以下に示した対策のほか、さらなる児童の負担軽減策を検討してまいります。
- ・家庭学習で使う最低限の教科書やドリル以外のものは、学校に置いておく。
- ・タブレット端末のキーボード部分を本体から取り外し、学校に置いてよいこととする。
- ・ランドセルにこだわらず両肩から背負えるものであれば軽量の通学カバンでもよいこととする。
- ・体操服や上靴など持ち帰るものが多い金曜日は、特に持ち帰るものが少なくなるよう留意する。

4 その他

- 保** しおかぜルームが週 3 回は開いているので、その期間は子どもが安心して登校できるが、残りの 2 日については、安心できる居場所がない。
- 考** なんらかの理由で登校や教室に入ることによる不安のあるお子さんの居場所として、今年度より「しおかぜルーム」を開設しました。週によって変更もありますが、基本的には月・火・水曜日に教育相談員が在室し、誰でも利用することができます。開室していない日について、お困りの場合は担任または教頭まで御相談ください。
- 保** 教職員の児童に対する言動による児童への影響を心配する御意見、職員の人権意識の向上を求める御意見をいただきました。
- 考** 人権に関する職員研修は毎年行っておりますが、こうした御意見を厳粛に受け止め、児童の人権を侵害に繋がる具体的な事例を取り上げる等、より実効性のある職員研修に取り組んでまいります。

5 終わりに

今年度も、保護者の方から様々な御意見をいただき、学校関係者の方から御意見を伺うことができました。お忙しい中、貴重な意見をいただくことができたことを感謝しております。学校職員はいただいた全ての御意見に目を通し、テーマごとにブロック会を開催して、次年度の方向性を検討してまいりました。

本年度の学校教育を支えて下さった保護者、地域、関係各位の方々に感謝するとともに、次年度も子供たちの成長を支えられる学校でありたいと考えております。引き続き御支援・御鞭撻いただきますようお願いいたします。

令和6年度 学校評価アンケートのまとめ



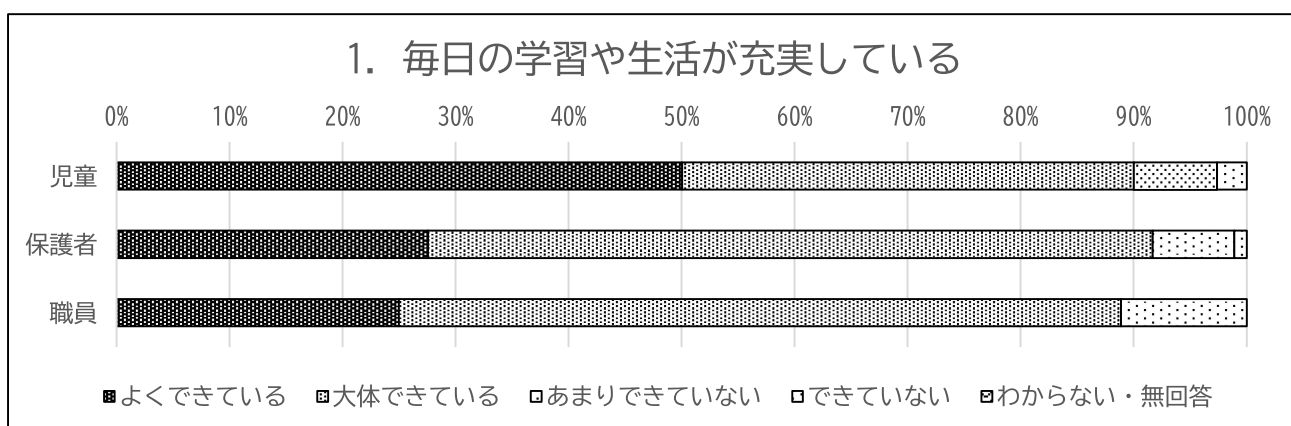
令和7年3月 習志野市立谷津南小学校

評価のまとめ

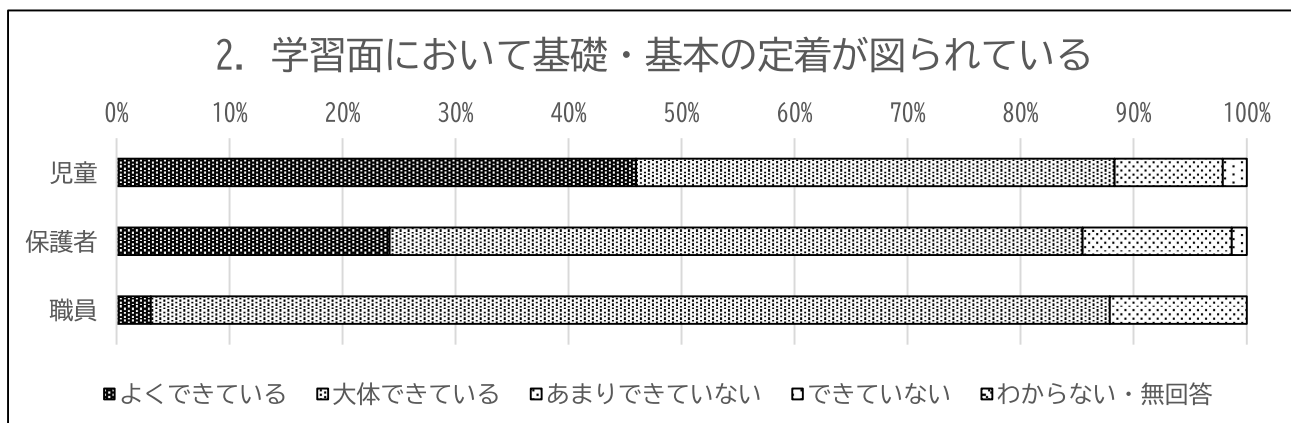
(※意見等については、主なものを要約、抜粋しています。御了承ください。)

保護者意見 … 保 職員意見 … 職 学校関係者評価委員意見 … 評 考察 … 考

1 学校アンケート質問項目から



考 「よくできている」「できている」と回答をした児童が90%に達し、前年度に比べて3%ほど増えています。令和5年5月に感染症対策が緩和され、今年度は1年を通して制限のない形で教育活動を行うことができました。体験的な学習や、地域の場所や地域の人との関わりを題材にした学習、異学年との交流等、児童が主体的に学習に参加できるよう、学習活動の工夫に引き続き取り組んでいきます。



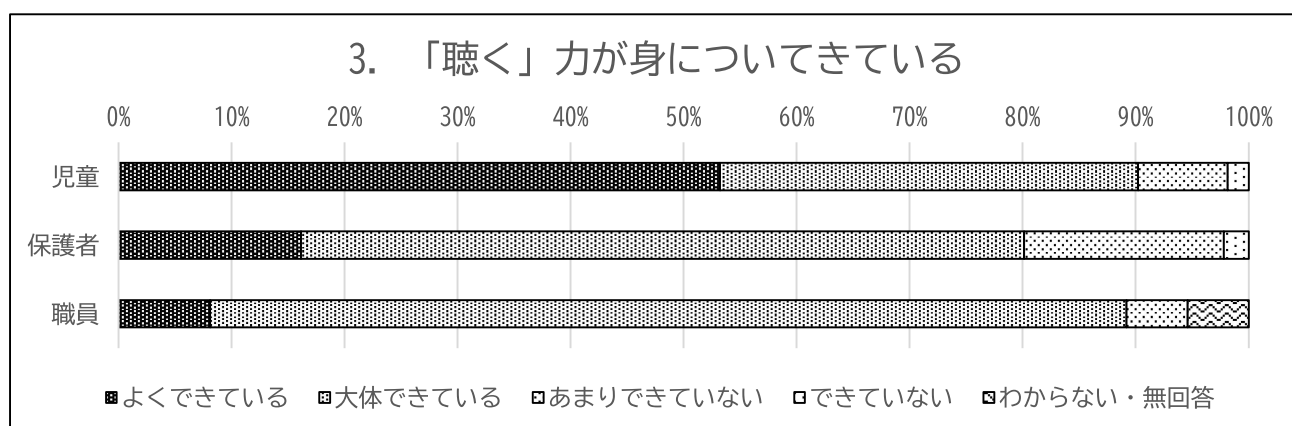
職 今年度、文部科学省通知に基づき、各教科の標準授業時数(1年間で行うべき授業時数)を超える余剰時数を見直しました。前年度より1週あたりの授業時間が減ったことで、放課後の授業準備や会議時間を確保することに繋がりました。

保 授業時数が減ったことへの不安の声がありました。説明不足で申し訳ございませんでした。各学年、各教科の学習内容につきましては、カリキュラムの通り実施しておりますので、御安心ください。

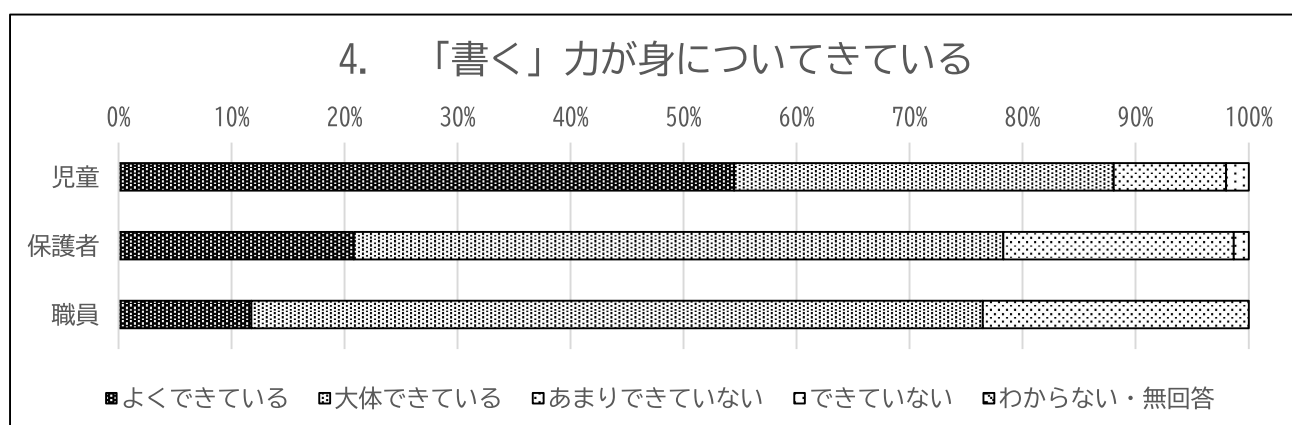
保 宿題の量や内容が適切かという御意見が複数ありました。

考 保護者と職員の回答では「よくできた」「できた」という肯定的な回答が昨年度より増加しましたが

児童については肯定的な回答が昨年度より3%ほど減少しました。児童一人一人が自分の目標をもち、学習によって「わかった」「できるようになった」という達成感をもつことができるよう、指導や支援の方法を工夫して参ります。宿題に関しては、学年の発達段階に応じて量や内容を吟味するとともに、ICT を活用した家庭学習の在り方について検討を進め、基礎・基本のさらなる定着を図ります。

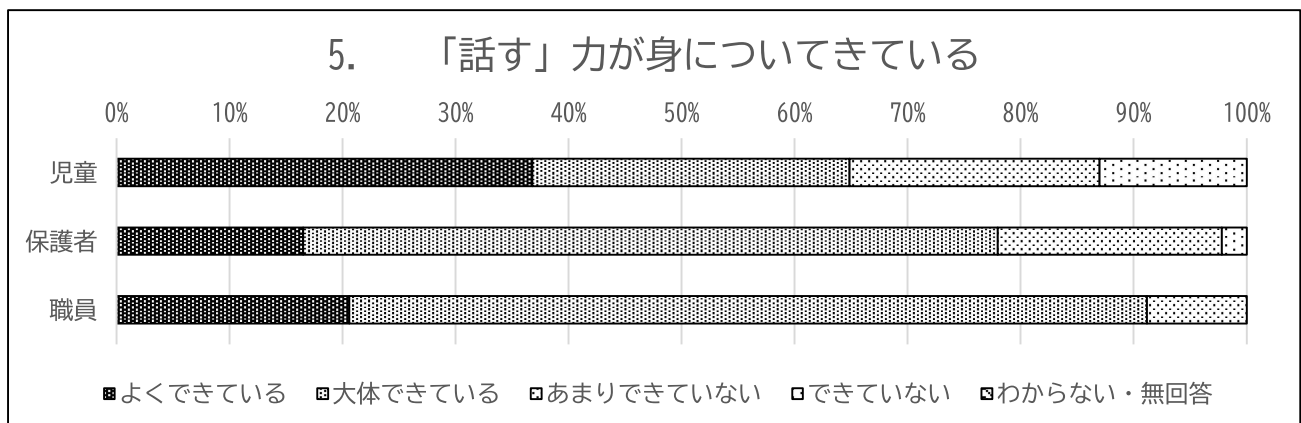


考 「よくできた」「できた」と回答した児童・職員の割合は90%でした。学習中だけでなく朝の会・帰りの会など、学校生活全体において、最後まで話を聴くことは非常に重要なことです。話し手に注意を向け、最後まで聴くことの価値や意味を児童に引き続き伝えてまいります。

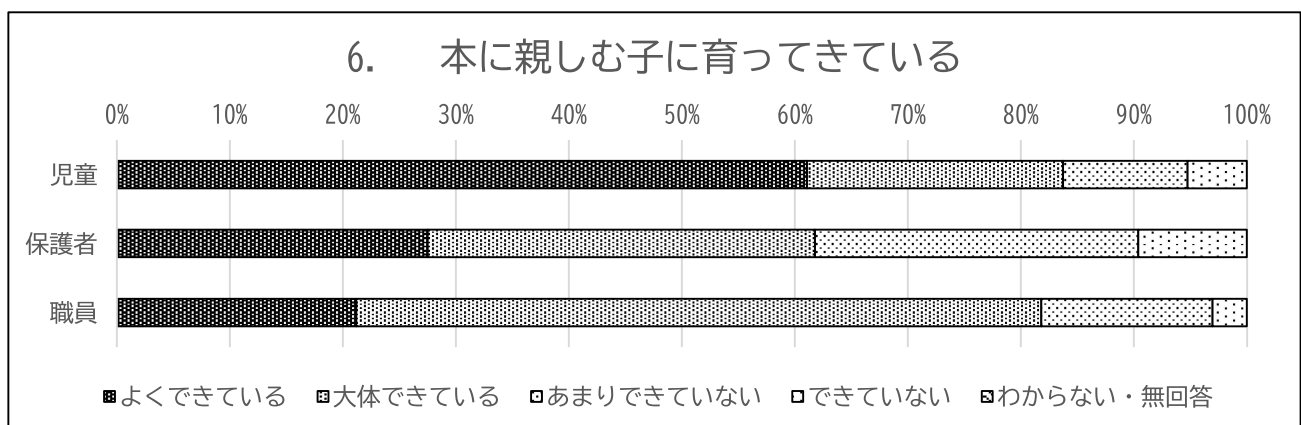


保 文字の書き方やノートの取り方の指導について、入学時からの成長を感じるとの御意見をいただきました。一方、授業時間内に黒板の字を書き切れず、わからないままになってしまっているとの御意見もあり、個人差が大きいことが分かります。

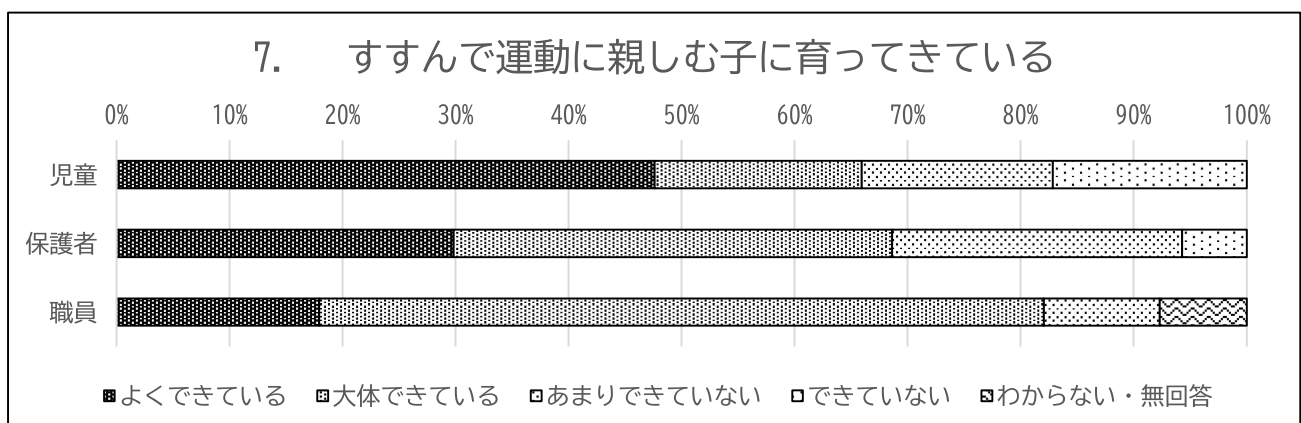
考 第6学年が令和6年4月に行った全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、「書く力」に課題があることが分かりました。学習中に自分の考えや、学習の振り返りを書く時間を確保していきます。一人一人の児童の実態に合わせて、書く力をどのようにして高めていくかを、学校全体で検討してまいります。



考 職員の9割が、話す力が身に付いてきていると回答していますが、児童の肯定的回答は65%で、職員の認識よりも話すことが苦手だと感じている児童が多いことが分かりました。本校では研究教科である生活科・社会科において、グループの友達や異学年の児童、職員や地域の方等との「対話」の場面を位置づけています。どの児童も主体的に話し合いに参加できるよう、支援の在り方を工夫していきます。

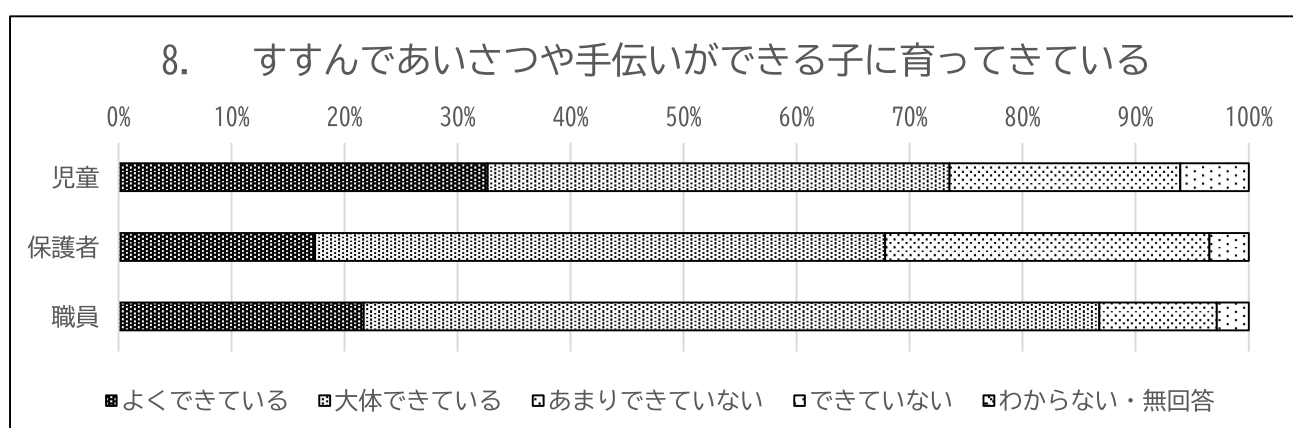


考 80%以上の児童が本に親しんでいると回答しています。一方、保護者については、読書があまりできていないという回答がやや多い結果となりました。学校では、2～6年生に「朝読書タイム」を設定しているほか、各クラスに週 1 時間、図書室を使用できる時間があります。また、地域の読み聞かせボランティア「お話ポケット」の皆さんによるお話会を、学期に1度、全クラスで実施しています。タブレット端末で利用できる習志野市の電子図書館「ナランド♪ライブラリー」のさらなる活用など、御家庭でできる取り組みについて周知してまいります。

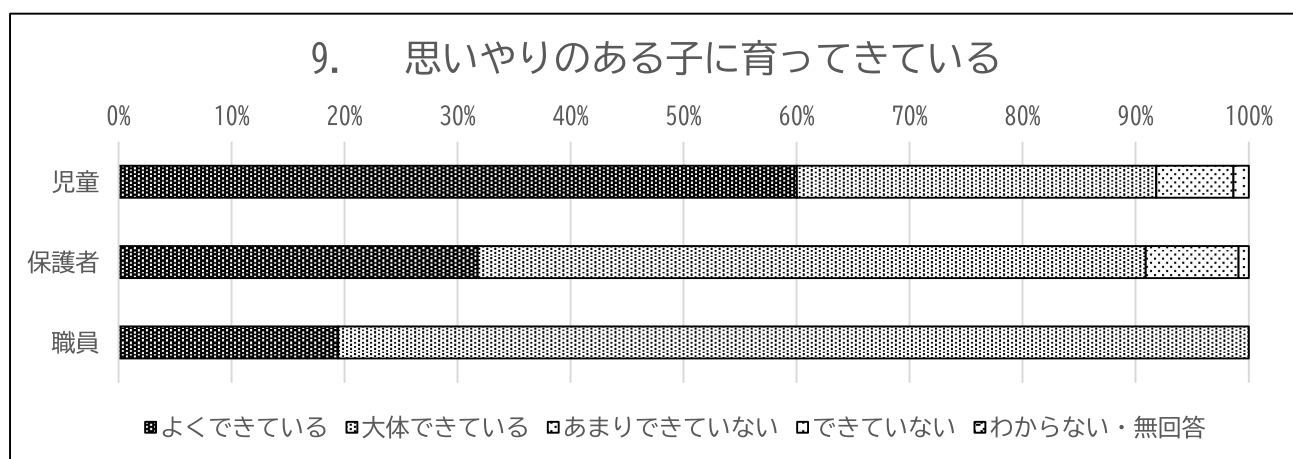


【評】 外遊びのルールについて、あまり規制が多いと外で遊びたいという動機付けや危険を予測する力の育成に繋がらないのではないかと。

【考】 体育の学習や外遊びで元気に体を動かす児童が多く見られますが、休み時間を室内で過ごす児童の姿も一定数見られ、肯定的な回答は昨年度より6%ほど減っています。今年度、千葉県教育委員会が行っている「遊・友スポーツランキングちば」の『みんなで短縄跳び』への取り組みを始めました。今後も継続し、児童が楽しみながら運動に参加しようとする意欲を高められるようにします。また1学期に実施した体力テストの結果を全体で共有し、課題となる部分について重点的に指導を行い、バランスよく体力を向上させられるよう取り組んでまいります。

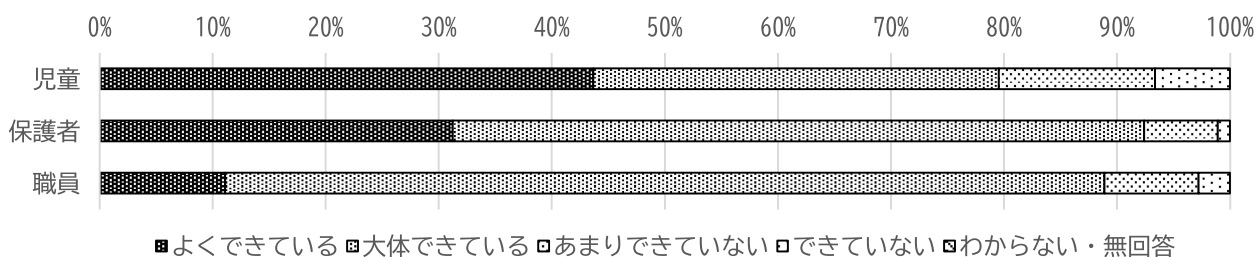


【考】 年間を通して、挨拶を重点的に指導しました。各学級での指導のほか、児童による朝の挨拶運動により、年度始めに比べると、自分から明るい声で友達や職員に挨拶する児童が増えています。職員・児童・保護者の評価に差異が認められます。引き続き、学校での指導の他、PTA や地域団体の皆様と連携して、挨拶の大切さを教えていきたいと考えます。



【考】 他者の気持ちを理解し、思いやりの心をもって接することについては、日常的な指導の中のほか、道徳の学習で指導しています。また、年間を通して縦割り清掃や異学年交流、1年生と保育所の年長児との交流活動を行っています。異学年の児童との交流は、コミュニケーション能力や思いやりの心を育てるうえで有効であると捉えております。学年の実態に応じて交流の場を設け、思いやりの心を育ててまいります。

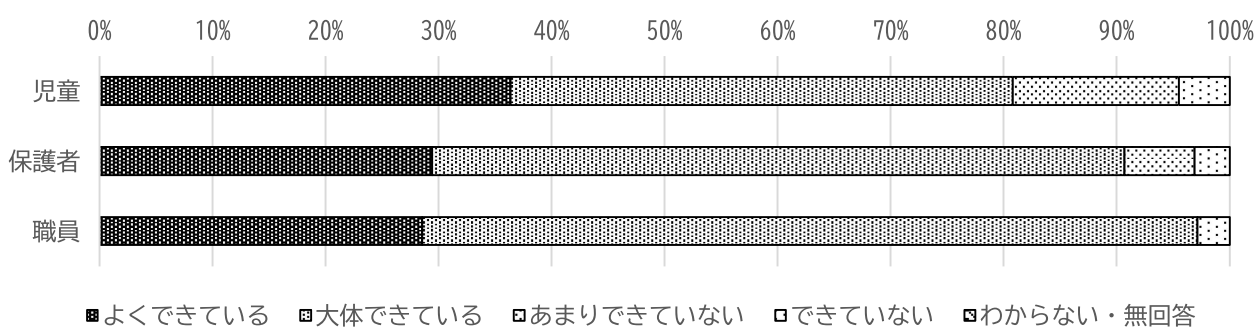
10. けがや病気に気をつけ、安全に過ごすことができるようになってきている



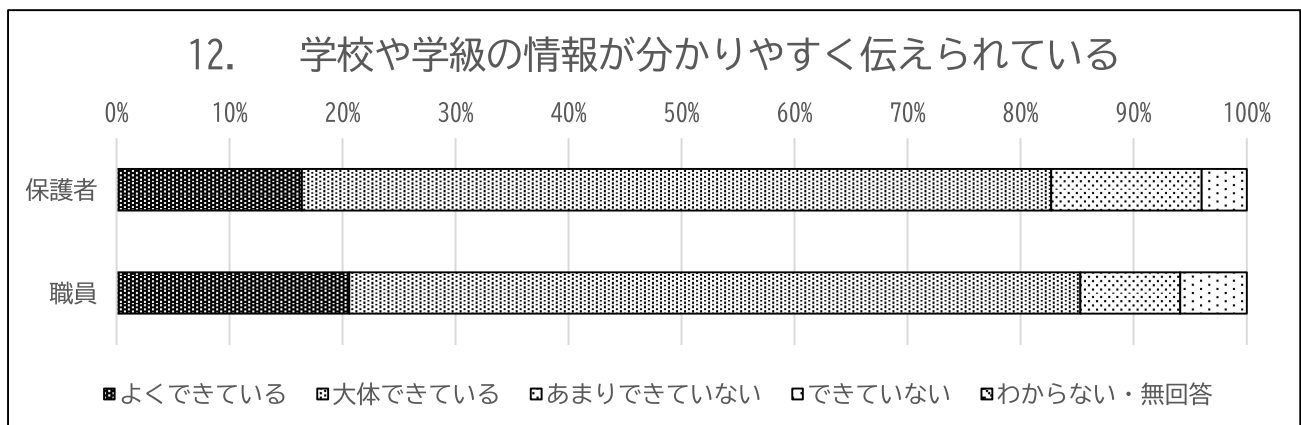
<バス通学について>

- 保** 入学直後の1年生下校時に、バス下校・徒歩下校・学童に行く児童で昇降口付近が混雑し、別のグループに入ってしまう児童がいたと聞いた。
- 保** あれだけの人数がバス乗車している騒がしくなるのは当然。一方的に「しゃべらないように」という指導の仕方は見直してほしい。
- 考** バスのマナーについては、年間を通して指導しています。御意見にあった通り、「しゃべってはいけない」という一律的な指導ではなく、一緒に乗車している方の気持ちを考えさせるなど、発達段階に合わせて子供たちに分かりやすく伝えていきたいと考えています。1年生を対象に4月に実施しているバスの乗り方教室や、交通安全教室等については、学校だよりでお知らせするほか、保護者の方にも公開し、その趣旨を御理解いただいたうえで御協力を得られるようにしていきたいと考えております。

11. 担任や学校に気軽に相談でき、親身に対応してくれている



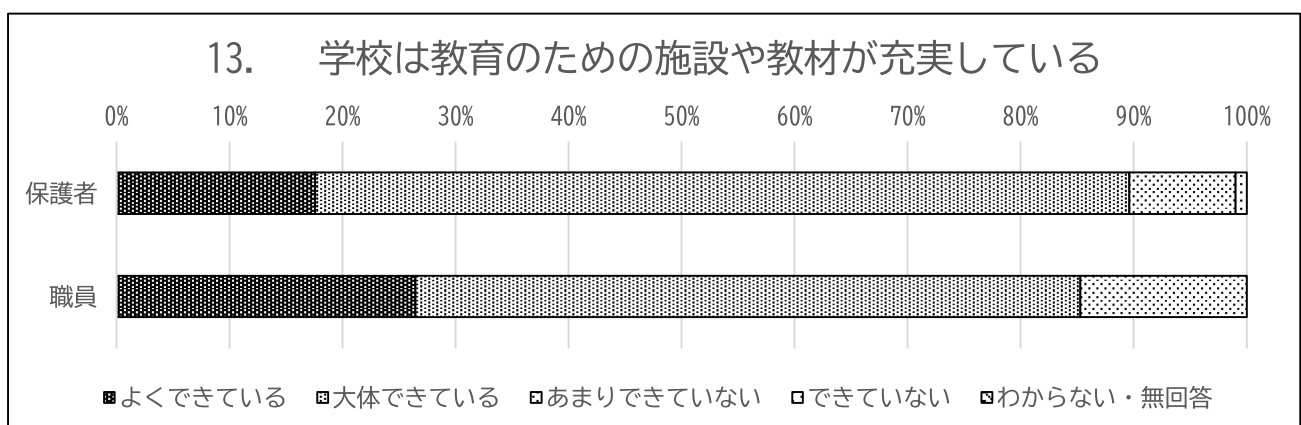
- 考** 保護者・職員の肯定的な回答は90%以上と高くなっていますが、児童の肯定的な回答がやや低くなっています。学期に一度、教育相談週間を設け、児童の困り感について聞き取りを行っています。担任以外にもスクールカウンセラー、教育相談員、養護教諭など、学校にいる職員誰にでも相談してよいことを、児童に周知していきます。また、職員の言葉遣いや態度、指導の仕方を児童はよく見ていることを再認識し、児童が気軽に相談できるような言動を常に心掛けてまいります。



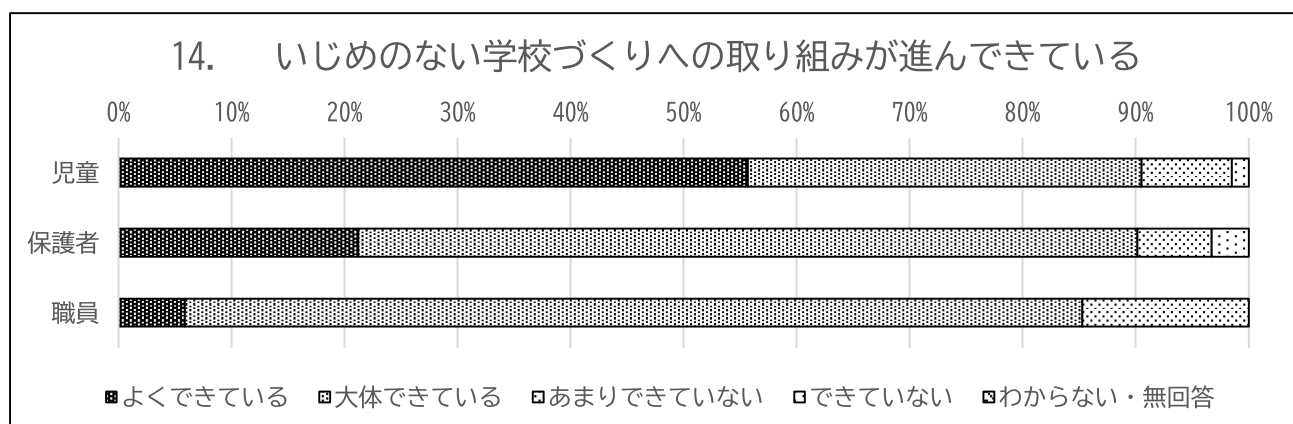
保 主に以下の御意見をいただきました。

- ・手紙類について、tetoru と紙の両方で配布されると分かりにくい。
- ・不要なチラシ類の配信が多く、重要なものが分かりにくい。
- ・学級閉鎖の連絡が入るが、どんな感染症が流行っているか教えて欲しい。
- ・一週間のプログラムを tetoru で配信してくれているおかげで何をやっているのか、何が必要なのかよく分かり助かった。
- ・週プログラムが配信されるクラスとされないクラスがあるので統一してほしい。
- ・お弁当が必要な日をアピールして欲しいです。

考 ペーパーレス化を推進するため、学校からのお知らせについては、原則 tetoru を使って配信しています。プールや校外学習の参加承諾書、各団体から配付されるチラシ等、紙で配布しなければならないものもありますが、紙での配付が最小限になるようにしてまいります。また、tetoru 配信時には、重要な文書が一目で分かるようなタイトルをつける等、分かりやすく配信できるよう工夫してまいります。週プログラム等、各学級から配付される手紙については、すべてのクラスで発行することは難しいですが、必要な情報は連絡帳を通して伝える等、クラス差が出ないように留意してまいります。



考 昨年度は体育館の床・照明・外装の改修工事、学童棟前の砂利道の舗装工事を行いました。来年度は体育館の空調設置工事が予定されております。具体的な日程が分かり次第、学校だより等で伝えてまいります。



保 いじめアンケートに親が目を通すのは、事実を記入出来ている場合には有意義だと思うが、親に見られる事を子供がわかっていると、正直に記入できないのではないかな。

考 いじめ対策には、未然防止や早期発見が重要となります。習志野市の学校では、「いじめに関するアンケート」を学期に1回実施し、保護者の方に確認していただいたうえで、担任が児童一人一人と面談を行っています。正直に回答することが難しい児童への対応として、無記名式のいじめアンケートや「先生あのねアンケート」「学校生活アンケート」を実施することで、友達に関する悩みだけでなく、家族や職員等に関することなど、様々な困り感の把握に努めています。子供一人一人から話を聞く時間を確保し、職員間で共有することで、早期発見・解決ができるよう学校体制で取り組んでまいります。

2 行事関連

保 授業参観について、混雑のため授業中にクラスに入れず廊下から参観せざるをえなかったという御意見をいただきました。

考 次年度は、授業参観の混雑緩和のために授業を2時間展開とし、その内の1時間を参観していただく形を予定しています。

保 運動会について、以下の御意見をいただきました。

<種目やプログラム関連>

- ・ダンスと徒競走以外の種目もコロナ禍前に戻して欲しい。・・・綱引きや玉入れなど
- ・運動会は今後も午前のみにしてほしい。
- ・運動会は以前のように学年別にしてほしい。
- ・今年は運動会にお弁当を持参したが、高学年がお腹を空かせて帰らずに済み、また子供たちの安全も確保されたので良かった。
- ・お弁当を持たせたが、食べる時間がなく、半分以上残して帰ってきた。

<会場について>

- ・運動会のダンスが遠くて見づらかった。
- ・マイク音声や音楽が聞こえづらかった。
- ・熱中症対策として運動会の子供達の日陰用テント設置に早期に取り組んで欲しい。

<観覧マナーについて>

- ・当日最前列に椅子を並べて観覧している保護者がいた。
- ・三脚を置いたまま移動せずに座っている保護者がいて非常に見にくかった。
- ・自身の子の前の学年の種目から一番前の席を陣取っている保護者が散見された。
- ・学校からのアナウンスや、他の保護者の注意を聞いても動かない方もいた。

考 令和5年度から感染症による制限がなくなりました。児童数が年々増加していることに加え、バス通学の児童を安全に下校させる必要があることから、今年度は午前中に競技を実施、昼食を食べて下校という形をとりました。本校特有の事情はありますが、児童にとってより達成感あるプログラムになるよう、検討を重ねてまいります。音響設備については設備の見直しを検討中です。保護者席や児童の休憩場所については、競技中の児童の安全を第一に考えたうえで、会場の配置を検討してまいります。観覧マナーについては注意事項をプログラムに記載するほか、椅子や三脚の使用ができない場所に表示札を貼る、PTAの皆様と連携して会場を回って声をかけるなどの対策を考えていきます。

保 鹿野山セカンドスクールは4,5年生だけでよいのではないかと。6年生は行事が多く、保護者としても負担に感じます。

考 3月7日に、習志野市教育委員会からの通知をtetoru配信させていただいた通り、令和8年度より6年生の宿泊体験学習については、修学旅行のみとなる予定です。

3 タブレット端末・ICT 関連

保 タブレット端末について、非常に多くの意見をいただきました。特に多かった意見について以下に整理しました。

- ・毎日タブレットを持ち帰っているがもう少し有効に活用できないか。
- ・タブレットを使った宿題を出してほしい。
- ・持ち帰りの頻度を減らすことはできないか。
- ・担任の先生によってタブレットの使用頻度に差がある。
- ・タブレットが重く、毎日持ち帰るのが負担である。安全面、体への負担が心配。
- ・学校で充電ができるようにできないか。
- ・子供がYoutubeを見られることが心配。
- ・教科書を学校に置いているため、今どんな内容を学習しているのかが分からず、躓いた教科を教えることが難しい。教科書の電子書籍がタブレットで見られるようになれば便利になる。

評 保護者の方にタブレット端末を使ってできることを、もっと保護者に周知する必要がある。

考 <タブレット端末の有効活用について>

- ・次年度より、新たな学習用アプリ「SKY MENU CLOUD」が導入されます。職員向けに研修を行うとともに、学年に応じた活用方法の検討を進め、授業や家庭学習でタブレット端末をさらに活用できるようにしていきます。

<持ち帰りの負担軽減について>

- ・習志野市では、タブレット端末は毎日持ち帰ることを基本としています。また、現状では教室毎にクラス人数分の端末を一度に充電する機材が配当されていないため、御家庭での充電をお願いしているところです。児童の持ち帰りの負担を軽減するため、以下に示した対策のほか、さらなる児童の負担軽減策を検討してまいります。
- ・家庭学習で使う最低限の教科書やドリル以外のものは、学校に置いておく。
- ・タブレット端末のキーボード部分を本体から取り外し、学校に置いてよいこととする。
- ・ランドセルにこだわらず両肩から背負えるものであれば軽量の通学カバンでもよいこととする。
- ・体操服や上靴など持ち帰るものが多い金曜日は、特に持ち帰るものが少なくなるよう留意する。

4 その他

- 保** しおかぜルームが週 3 回は開いているので、その期間は子どもが安心して登校できるが、残りの 2 日については、安心できる居場所がない。
- 考** なんらかの理由で登校や教室に入ることによる不安のあるお子さんの居場所として、今年度より「しおかぜルーム」を開設しました。週によって変更もありますが、基本的には月・火・水曜日に教育相談員が在室し、誰でも利用することができます。開室していない日について、お困りの場合は担任または教頭まで御相談ください。
- 保** 教職員の児童に対する言動による児童への影響を心配する御意見、職員の人権意識の向上を求める御意見をいただきました。
- 考** 人権に関する職員研修は毎年行っておりますが、こうした御意見を厳粛に受け止め、児童の人権を侵害に繋がる具体的な事例を取り上げる等、より実効性のある職員研修に取り組んでまいります。

5 終わりに

今年度も、保護者の方から様々な御意見をいただき、学校関係者の方から御意見を伺うことができました。お忙しい中、貴重な意見をいただくことができたことを感謝しております。学校職員はいただいた全ての御意見に目を通し、テーマごとにブロック会を開催して、次年度の方向性を検討してまいりました。

本年度の学校教育を支えて下さった保護者、地域、関係各位の方々に感謝するとともに、次年度も子供たちの成長を支えられる学校でありたいと考えております。引き続き御支援・御鞭撻いただきますようお願いいたします。